



すずしろ 22 2022 1 月報

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況

令和 3 年 12 月援農時間 1,790 時間（昨年同月 1,772 時間、18 時間増）、
受入農家 18 軒（昨年同月 19 軒）、参加会員 56 名（昨年同月 49 名）、
令和 3 年度援農時間 20,379 時間（令和 2 年 19,143 時間、1,236 時間増）

12 月は寒い日が多くなり、冬野菜の甘みが増してきました。鍋物向けの野菜やお正月に向けた野菜の収穫、出荷作業が増えたように思います。

令和 3 年度の援農活動に関しては、3 月と 8 月を除く 10 か月で前年同月の援農時間を上回りました。その結果、年間の総援農時間は 2 万時間を越え、過去最高となりました。好天が続いたこと、3 番目の中学校給食センター「元横山はちっこキッチン」のオープン、新規加入の会員の積極的な援農参加、同じく新規加入農家さんの援農依頼も貢献しております。何よりも、援農窓口の方の積極的な呼びかけと、それに応じて頂いた会員皆様の協力のおかげでもあります。

寒い季節の援農は、体の動きが悪くなり、疲労もたまりやすくなります。疲労の蓄積は、コロナばかりでなく、風邪やインフルエンザにも感染しやすくなってしまいます。入浴で体をほぐし、ぐっすり寝て疲れを取りましょう。また、この季節は路面の凍結にも注意が必要です。ご自身だけではなく、歩行者、自転車やバイクが転倒し、目の前に飛び出して来ることがあるかもしれません。

本年も、健康で安全・安心を最優先にした援農活動への協力をよろしく
お願い致します。（援農サポーター 北尾）



理事会報告

1 月度理事会（1/20(木) 17:30~21:00 大横保健福祉センターにて。
6 人出席）

- ① 総会 2/27(日)について
- ② 3/6 自然薯即売会について
- ③ 援農窓口の変更。援農窓口担当者は 1 人増え、計 15 人となりました。
- ④ 3/6 地域デビューパーティーに出展する。
- ⑤ 農林課運営市民農園の業務委託を受けるかどうか・継続審議



イベント等のお知らせ

① 2/27（日）10:00~12:00 台町市民センター第 1、2 会議室で、令和 4 年度通常総会を開催します。会員のみなさまに出席していただきたいと思っておりますが、コロナの状況で出席制限すべきかどうかは、2/3 の時点で判断させていただきます。

② 八王子産自然薯の収穫体験と即売会のお知らせ

自然薯は古くから山薬、漢方食として用いられ、とても効能の多い食品です。

畑の見学、収穫体験にいらっしゃいませんか！

・開催日時： 3/6（日）雨天の場合、翌週 13（日）10:00~12:00

・会場： 小比企町（湯殿川沿い）安留農園自然薯畑

（トイレはありません。川沿いの道の入り口は車止めがあり、とても狭くなっています。ご注意ください）

・募集人数： 先着 20 組 駐車 20 台 駐車場は川沿いの防災小屋近くのスペース

・自然薯販売代金： 1,000 円/500g（1 本あたり 400~700g）1 人 3 本位まで

・参加費： すずしろ 22 会員 無料 会員外・小学生以上 100 円（保険代等）

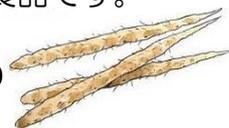
未就学児 無料

・申込先： 佐藤瑞恵 mizue06230415@yahoo.co.jp ショートメール 090-4912-2117

・締切り 2/28（月）

★主催： すずしろ 22 農家 安留農園

協賛： すずしろ 22



農園で使用している堆肥

有機堆肥を直営農園へ

狭間町 合津 秀雄
(農園担当)

八王子市農林課と農業委員会の指導と承認をいただいて、すすしろ22が開設し運用している市民農園は数えて7か所130区画をこえました。いずれの農園の会員さんからも有機堆肥のご希望をいただいています。加住地区の農園には八王子乗馬倶楽部の、小比企地区には黒毛和牛牧場の堆肥を用意させていただいてきました。



昨年「学校給食の“残さ”をベースとした有機堆肥がありますよ」との情報を援農会員さんからいただきました。ありがたい話と感謝しながらも、反射的に浮かんできたことがありました。

- ・また 食材残さ使用の話 ・トライしている事例はよく聞くものの実態は？
- ・折角つくっても堆肥の利用は？ ・堆肥素材による連作障害の誘発は？
- ・湿り気が多く雑菌が気になり ・原型をとどめた素材が残存

そんな先入観を抱きながら 南大沢のプラントを見学させていただきました。疑念は 氷解しました。

- ◎残さは粉碎 ◎廃木材ではなく未使用材をチップ化し混合
- ◎発酵を数回繰り返して発酵温度が65℃以上
- ◎熱による殺菌効果で連作障害を回避

早速 小比企地区四農園用に20袋を配備。好評で追加+20+20+20・・・。
久保山町に新規開設した久保山農園にも軽トラ荷台満載の40袋を初搬入。
有望な有機堆肥の入手先を 確保させていただきました。
申し遅れました、この堆肥の名称は『イズミちゃん』/(株)イズミ環境です。



堆肥袋に描かれた
イメキャラ
『イズミちゃん』

山中落葉 の堆肥化

JR高尾駅の南方100mほどに標高300mの初沢山。山中の人跡未踏の地には 数十センチの落葉が堆積。腐植は確実に進んでいるものの「発熱発酵」は無し。なぜなのでしょう？ (正解は、2月報で)

富所農園の馬糞堆肥

加住町にある富所農園と新富所農園では、八王子乗馬倶楽部からいただいた馬糞堆肥を使っています。馬の寝床に敷いたおがくずや落ち葉(馬のふん尿の混ざったもの)のことです。おがくずは千葉県から購入しています。冬場は滝山城址公園にある乗馬倶楽部所有地の落ち葉を掃き集めて敷料にしています。馬糞堆肥は、家畜堆肥の中では、一番肥料成分が少なく、繊維質が多く、畑に入れるとふかふかした良い土になると言われています。

落ち葉とおがくずを比べると、落ち葉の方が分解しやすいので、堆肥には適しているそうです。また馬にとって、ひづめはとても大事なもので、ひづめのすき間に入り込むおがくずより、落ち葉の方がいいのだそうです。もし、落ち葉を提供してくださる農家さんがありましたら、馬糞堆肥としてお返しし、それが循環型社会になり、八王子乗馬倶楽部としてもありがたいので、ご連絡くださいとのことです(連絡先:八王子乗馬倶楽部 042-691-1915)。以上、八王子乗馬倶楽部 壹岐(いき)さんから伺いました。(飛田)



写真提供:八王子乗馬倶楽部

野草あれこれ

カンアオイ(寒葵) ウマノスズクサ科カンアオイ属

常緑多年草。カンアオイ属は、世界でアジアに62種、そのうち50種が日本に自生している。カンアオイ(別名カントウカンアオイ)は、関東から東海にかけて分布し、山地の林下などに生育する。茎は地ばい性で暗紫色。葉は長い柄をもち先がとがるタマゴ状の心形。濃緑色で白斑や白脈が入る。花は直径2cm、地に半ば埋もれたように咲く。花弁は無く、花弁に見えるのは多肉のガクで、先は三裂し芳香がある。名前の由来は、徳川家の家紋『フタバアオイ』に似て、冬でも葉が枯れないことから。

